

西 ～にし～

Good News 特集号

■都立第五商業高等学校 全日制課程
「第44回全商杯英語スピーチコンテスト東京大会にて優勝」
■都立日野台高等学校
「国際理解教育『留学生が先生！』」

■第五商業高等学校 英語同好会「第44回全商杯英語スピーチコンテスト東京大会にて優勝」

10月15日（土）に、都立江東商業高等学校で行われた全商杯英語スピーチコンテスト東京大会において、レシテーション部門で藤澤凌君（2年B組）が第2位、スピーチ部門で坂本朱音さん（2年B組）が第1位を獲得し、スピーチ部門での全国大会出場が決定しました。本校の全商杯英語スピーチコンテストの全国大会出場は3年ぶりとなり、スピーチ部門では初の全国大会となります。全国大会は、平成29年1月8日（日）全商会館にて行われます。

藤澤君と坂本さんは、スピーチコンテストへの出場を希望する1・2学年の生徒を対象にしたオーディションにて選ばれました。レシテーション部門では300語程度の英文を暗誦します。英文のどこを一番聴衆に聞いてもらいたいか、効果的に伝えるために何度も読みます。

スピーチ部門では自分が抱えている考えや思いを英文にし、発表します。何を伝えたいのか、どう言えば伝わるのかを考え、何度も推敲を重ねました。二人とも英文が頭に入った後は、正しい発音、正しいイントネーションになるように学校でも家庭でも練習をしました。発音の指導に対して、すぐに直すことができる臨機応変さは目を見張るものでした。

また、資格試験に力を入れている五商生ならではの粘り強さも、二人の上達のポイントです。毎日同じ文を心を込めて何度も読むということは、そう簡単なことではありません。まさに、「継続は力なり。」という言葉がピッタリな二人です。全国大会での活躍を期待しています。



■日野台高等学校「国際理解教育『留学生が先生！』」

11月16日（水）、国際交流の一環として、公益社団法人国際理解支援協会の「留学生が先生！」教育プログラムを活用し、8名の留学生をお招きしました。本校に在籍する帰国生徒が留学生の世話役となり、北米・ヨーロッパ・アジアからの留学生が1年生の教室を訪問しました。

キルギス共和国からの留学生カリマンさんは、民族音楽学を学ぶために来日しました。小学生の頃から、学校では公用語のロシア語、家ではキルギス語と、2か国語で生活してきたそうです。カリマンさんは「コムズ」という杏の木でできた弦楽器を持参し、演奏しました。カリマンさんいわく「楽器は生き物」なので、お守りをつけているそうです。右手の動きが独特で、弦を弾くだけでなく、楽器の上部を触ったり宙を舞ったりします。カリマンさんは最後に「文部科学省のプログラムで留学生として選ばれたのは2人だけ。その難関を突破できたのは、コムズのおかげ。小さい頃から大好きという理由だけで続けてきたコムズが、まさか日本に行くという私の夢を手伝ってくれるとは思っていませんでした。好きな事をやり続ける事が大事。それが大人になった時、夢の実現を助けてくれる。」というメッセージを、生徒達に送りました。

様々な国の様子や文化だけでなく、留学生の生き方に触れる事で、生徒達は多くの事を感じ、刺激を受けたと思います。今年で4年目のプログラム、今後も継続していきます。



東京都西部学校経営支援センター

〒190-0022 東京都立川市錦町4-6-3 東京都立川合同庁舎4階

電話（管理課）（042）527-6590

（経営支援室）（042）527-6980

ファクシミリ（042）527-6468